令和５年度　島根県学力調査結果及び分析

松江市立来待小学校

【１】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（〇成果／●課題）

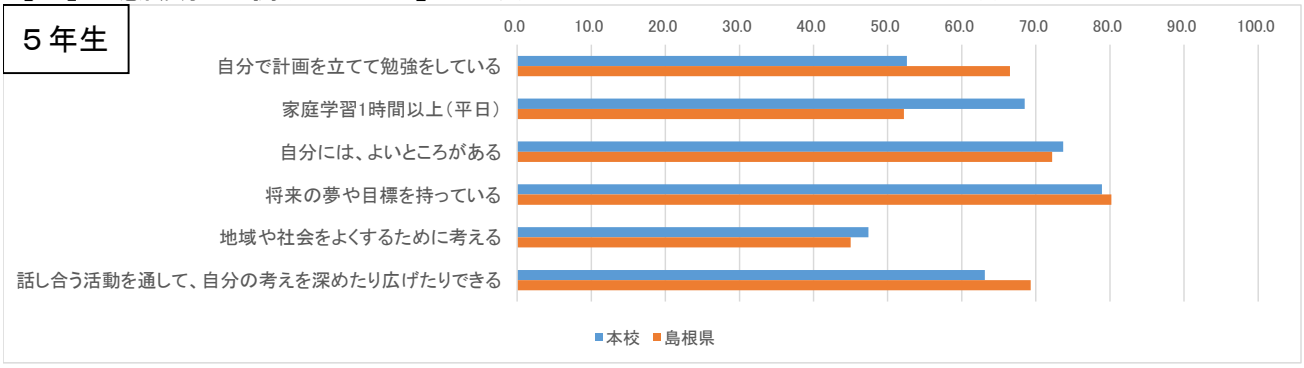
	5年生	6年生
国語	〇漢字を正しく読んでいる児童の割合が県平均と同程度であり、漢字を正しく書いている児童の割合が県平均を上回っている。 ●話合いの内容を聞き取って話し手の工夫をとらえたり、自分の考えを表現したりすることができにくい。 ●物語や説明文の内容や構成を正しくとらえることができにくい。	〇漢字を正しく読んだり書いたりしている児童の割合が県平均を大きく上回っており、敬語や接続詞などについても正しく理解している児童の割合が県平均を大きく上回っている。 〇インタビューの内容を聞き取って話の内容をとらえることができる児童の割合が県平均を上回っている。 ●説明文の内容を読み、文章の内容をとらえたり文章の内容を整理したりすることができにくい。
算数	〇図を見て、小数倍の文章問題を解くために乗法の立式をできる児童が多い。 ●公約数や公倍数についての理解が十分ではなく、それらを活用して問題を解決することができにくい。 ●立体の体積を求める式や図形の角の大きさについての理解が十分ではなく、それらを活用して体積や核の大きさを求めることができにくい。	〇文字を使って数量の関係を式に表したり、一方の文字の値から他方の文字の値を求めたりすることができる児童の割合が県平均を上回っている。 ●比を使って全体の量から一方の量を求めたり、一方の量から全体の量を求めたりすることができにくい。 ●分数のかけ算やわり算において、比較量を求めたり基準量の何倍になるかを求めたりすることができにくい。

【２】「意識調査」結果から見られた成果と課題（〇成果／●課題）

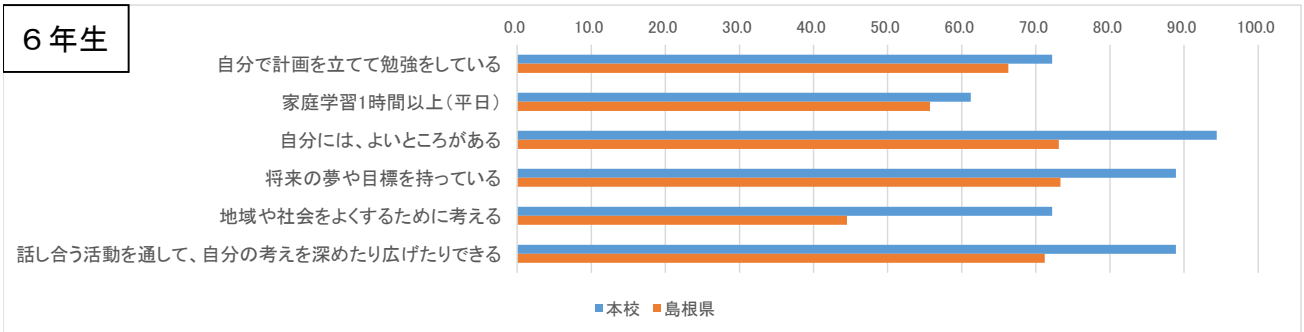
	5年生	6年生
意識	〇平日の家庭学習時間が１時間以上と回答した児童の割合が高い。 ●自分で計画を立てて勉強をするなど、自主的に学習に取り組もうとする児童が少ない。	〇「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」と回答した児童の割合が、県平均と比較してとても高い。 〇地域のことについて関心をもち、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童の割合が、県平均と比較してかなり高い。

【３】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）

５年生



６年生



【R5学力調査受検者数】　5年生 19 名　　6年生 18 名

（欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示）